

『さいせき・函館』… 20160322号



一雨ごとに冬の寒さから解放されて、ようやく春を感じる陽気になりました。切羽も強いシバレから解放されて崩落等も起こり易くなっています。互いに十分に注意して作業をしなければなりません。と同時に濁水の発生源の特定と対策を行い抑制していく事も必要です。砕石業の今が一番注意される時期でもあります。道東の方では、クマの足跡が見つかったとか。冬眠したか。しなかったのか。いずれにしても従前の当たり前が、そうでなくなっている今、仕事の出方も検討が付きません。いつ来るか解らない仕事のために在庫を抱え込む時代でもありません。工事発注者側との使用材料について十分な協議が必要にもなって来ます。私たちは、安全操業・品質管理・適正価格を追及して新しい年度を迎えましょう。

◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ①4月14日午後2時から平成28年度第一回理事会の開催…連合会、道本部通常総会議案について協議
道本部総会日程は、5月25日です。詳細は後日報告。
- ②3月1日建設資材対策北海道地方連絡会2015年度第2回会合が札幌第一合同庁舎で開催。事務局長出席
当会として、最近の業界課題を説明。骨材需要の先行きが不透明なことから設備投資や人材確保など見通しが立てにくい現状を訴えてまいりました。2016年度材料需要動向は5月末頃示される予定です。
- ③採石のための掘削作業主任者技能講習会が2月24.25日両日に開催され20名が資格を習得しました。
- ④函館市内で骨材資源学会が11月17日木曜日午後14時から開催予定です。4月14日の道本部理事会において決定されますが、道本部共催、函館支部も協力する考えています。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

①主な実施活動

- 3月07日…要望活動(函館開発建設部、函館建設管理部、渡島総合振興局産業振興部水産課)
要望内容…ゾーンの細分化及び適正な積算単価の在り方、又、割石の検収体制について要望意見交換をしてまいりました。今後10月頃までに内容を検討し協議していく予定ですが全道的動向も視野に活動する事になると思います。
- 3月07日…渡島総合振興局商工労働課との協議(管内事業所の動向と対策について)
- 3月08日…理事会(緑化保証積立金の在り方と利用条件について)
- 3月10日…渡島総合振興局商工労働課と林務課との協議(後藤事業所の緑化対応と隣接事業所との対応等)
林務課森林保全係、後藤主任転出とのことです。
- 3月18日…檜山振興局商工労働課との協議(管内事業所の動向と対策について)新年度より担当が変わります。
向井主査から目黒商工労働係長になり、向井主査は渡島総合振興局商工労働課に移動予定です。
- 3月23日…経済調査会との協議(3月7日の要望活動に対する報告と今後の道南地区のゾーンについて協議と意見交換をさせて頂きす。併せて積算価格の適正化及び割石検収の現況と対応も協議致します。)

②今後の予定…理事会が緊急に開催される事もありますのでよろしく。

- 4月05日…後藤事業所跡地緑化工事協議 (豊崎地区の跡地整理と今後の対応について)…現場にて、函館市等
- 4月12日…理事会(平成28年度総会資料事前協議、他)時間は未定
…経済調査会での協議・意見交換を受けて、理事会において函館開発建設部、函館建設管理部に対して道南地区としてのゾーンの細分化について提案して行く方向性を協議したいと考えています。

③後藤事業所事業停止の報告

・皆さま既に御承知とは思いますが、後藤事業所が事業を停止することになりました。と同時に当会も3月末で脱退致します。後藤社長には長い間、当会の理事、組合の緑化対策委員長としての重責を担っていただきました。毎年の安全パトロールには忙しい最中でも同行して頂き、的確な指導を提案して頂き心より感謝致している次第です。

今後は、砕石跡地の整理と緑化工事に対応する事になりますが、当会としても許可権者や関係所管との対応を後藤社長が行うにあたって協力して参りたいと考えております。